

「新たな総合計画」第1期実施計画案について

「新たな総合計画」は、本市がめざす都市像や基本目標等を定めた「基本構想」と、「基本構想」に基づき、政策の方向性を定めた「基本計画」、より具体的な施策の取組内容及び目標・成果指標等を定めた「実施計画」の3層で構成しています。

「基本構想」及び「基本計画」については、平成27年12月に、市議会において議決され、平成28(2016)年度及び平成29(2017)年度の2か年を計画期間とする「第1期実施計画案」を今回、とりまとめたところです。

昨年11月には、実施計画の「素案」を取りまとめ、パブリック・コメント手続等を通じて市民の皆様にご意見をいただきました。

今回の「第1期実施計画案」は、これまでの計画策定作業を踏まえ、予算編成作業とも連携しながら取りまとめた今後2か年の具体的な施策内容について、「平成28年度予算案」及び「行財政改革に関する計画案」等とともに公表するものです。

1 第1期実施計画案の構成

(1) 総論

- 生産年齢人口の減少などの「将来を見据えて乗り越えなければならない課題」、「積極的に活用すべき川崎のポテンシャル」、「新たな飛躍に向けたチャンス」からなる計画策定にあたっての基本認識等を取りまとめています。<1 ページ参照>

(2) 基本構想

- 今後 30年程度を展望し、本市がめざす都市像や、まちづくりの基本目標、5つの「基本政策」等を定めたものです。<47 ページ参照>

(3) 基本計画

- 概ね10年間を対象とし、基本構想に定める5つの「基本政策」を体系的に推進するために、「基本政策」ごとに23の「政策」の方向性を明らかにしたものです。<53 ページ参照>

(4) かわさき10年戦略

- 「かわさき10年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの項目を設定しました。
 - ・ 各戦略では、戦略の目標や、目標を達成するための大まかな行程を明らかにしています。<63 ページ参照>

(5) 実施計画

ア 政策体系別計画

- 5つの「基本政策」別に、23の「政策」の方向性に沿って、74の「施策」の「施策の概要」、「直接目標」、「計画期間（平成28年度～平成29年度）の主な取組」を取りまとめています。
- とりわけ、行政の取組により、市民生活がどのように変化するかを端的に表した「直接目標」、その直接目標等がどのくらい実現されたかを客観的に数値で表す「成果指標」、市民満足度等を表す「市民の実感指標」を位置づけた点が特徴となっています。<79ページ参照>

イ 区計画

- 7つの区別に、地域特性を踏まえた「区の概要」、「現状と課題」、「まちづくりの方向性」、「地域の課題解決に向けた主要な取組」、「“それいいね”が広がるまちづくりに向けて」、「区マップ」を取りまとめています。
- 特に、「地域の課題解決に向けた主要な取組」については、市民の暮らしに身近な区役所が、市民、地域で活動する団体などと協働で行う地域課題の解決に向けた主な取組を位置づけています。<371ページ参照>

(6) 実施計画の進行管理と評価

- 少子高齢化の急速な進展等により、人口減少社会を迎えようとする中、限られた財源や人員を有効に活用し、更なる市民サービスの質的向上を図るとともに、市民満足度を高めていくことが今まで以上に必要とされています。
- 新たな総合計画では、目標とその成果をしっかりと可視化することで、課題や改善点を明確化し、PDCAサイクルがより一層効果的に機能する進行管理のしくみを構築します。<475ページ参照>

2 素案からの主な変更項目

(1) 「最幸のまち」の説明を追加

- めざす都市像に掲げる「成長と成熟が調和した持続可能な最幸のまち かわさき」の中で、『最幸のまち』の趣旨説明を追加しました。<3ページほか>

(2) 「計画の構成」等の明確化

- 「かわさき10年戦略」と、基本計画等との関係性が分かりにくいといった御意見への対応として、計画の構成図を修正し、それぞれのパートの趣旨を明確化しました。<3ページ参照>

(3) 「計画推進にあたって、重要な節目となる年次及びポイント」の修正

- 「人口減少への転換（平成42（2030）年）」とともに、「生産年齢人口の減少（平成37（2025）年）」を位置づけました。<23ページ参照>

(4) 「都市構造・交通体系」の修正

- 拠点ごとの整備の方向性や、地域交通の充実の方向性等について追記しました。
 <24 ページ参照>

(5) 「収支フレーム」の明確化

- 「今後の財政運営の基本的な考え方（案）」と整合を図り、平成31年度の収支均衡に向けた「収支フレーム」を明確化しました。<43 ページ参照>

(6) 2 年間の取組内容の具体化

- 素案の時点では2年間の計画期間の取組内容を一括してお示ししていましたが、予算編成作業と連携した調整を進め、年度ごとの取組内容をできる限り具体化しました。

【例】 ■ 第1期実施計画素案(平成27(2015)年11月時点)

事務事業名	現状	事業内容・目標	
	平成26～27 (2014～15)年度	平成28(2016)～平成29(2017) 年度	平成30(2018) 年度以降
防災施設整備事業 防災関連の施設、各種情報通信システム等を整備し、市の災害対応力及び地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線の再整備 ●多重系・衛星系防災行政無線の実施設設計 ●総合防災情報システムのIDC(インターネットデータセンター)移行 ●避難所への備蓄倉庫の整備 ●備蓄物資の計画配置 	<ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線の屋外受信機の増設及び戸別受信機の更新 ●多重系・衛星系防災行政無線の再整備 ●総合防災情報システムの機能強化 ●備蓄物資の計画配置 	事業推進

【例】 ■ 第1期実施計画案(平成28(2016)年2月時点)

事務事業名	現状	事業内容・目標		
	平成26～27 (2014～15)年度	平成28(2016) 年度	平成29(2017) 年度	平成30(2018) 年度以降
防災施設整備事業 防災関連の施設、各種情報通信システム等を整備し、市の災害対応力及び地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線の再整備 (H27 屋外受信機の整備数：全282台) ●多重系・衛星系防災行政無線の再整備実施設計 ●総合防災情報システムのIDC(インターネットデータセンター)移行 ●避難所への備蓄倉庫の整備 ●備蓄物資の計画配置 	<ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線の屋外受信機の増設及び戸別受信機の更新 (屋外受信機の整備数：全287台) ●多重系・衛星系防災行政無線の再整備工事 ●被災者支援機能拡充など、総合防災情報システムの機能強化 ●狭小な備蓄倉庫への対応 ●備蓄物資の計画配置 	<ul style="list-style-type: none"> ●同報系防災行政無線の屋外受信機の増設及び戸別受信機の更新 (屋外受信機の整備数：全292台) 	事業推進

(7) 「かわさき10年戦略」の説明を追加

- 「かわさき10年戦略」と、5つの基本政策等との関係性が分かりにくいといった御意見への対応として、それぞれの関連性を示したイメージ図を追加し、戦略の趣旨を明確化しました。<68 ページほか参照>

(8) 区計画に「区マップ」を追加

- 計画期間中に各区で整備される保育所や学校施設等を掲載した「区マップ」を作成し、追加しました。<388 ページほか参照>

(9) 資料編に「成果指標一覧」を追加

- 成果指標設定の考え方や、数値の算定方法、目標値設定の根拠等を掲載した一覧表を資料編に追加しました。<521 ページ参照>

(10) その他、パブリック・コメント等で寄せられた御意見への対応

①意見募集の概要

- ・意見の募集期間 平成27年11月14日(土)から12月14日(月)まで
- ・意見の提出方法 FAX、郵送、持参 インターネット(フォームメール)

②寄せられた意見の件数

意見提出数(意見件数)		30通(122件)
内訳	インターネット・電子メール	23通(100件)
	FAX	7通(22件)

③実施結果の概要

- ア 「かわさき10年戦略」に関すること
7つの戦略に対して、概ね均等に意見が寄せられました。
- イ 「基本政策1」に関すること
防災、放置自転車、高齢者・障害者に関わる施策への意見が多く寄せられました。
- ウ 「基本政策2」に関すること
子ども子育て支援、教育関係の施策への意見が多く寄せられました。
- エ 「基本政策3」に関すること
地球環境、地域環境及び公園緑地に関わる施策への意見が多く寄せられました。
- オ 「基本政策4」に関すること
基本政策4「活力と魅力あふれる力強い都市づくり」には最も多くの意見が寄せられました。御意見は、構成する9つの政策に対して概ね均等に寄せられました。
- カ 「基本政策5」及び「区計画」に関すること
市民自治の推進に関する御意見が多く寄せられました。また、区計画では、中原区及び高津区にそれぞれ1件の意見がありました。
- キ 総論、進行管理と評価、その他
健全な財政の運営や進行管理と評価への意見が多く寄せられました。

④素案に反映した御意見(計5件)

- ア 「かわさき10年戦略」に関すること(1件)
戦略1に本庁舎の建替が入っていることへの違和感については、災害対策の拠点としての機能を十分に果たす必要から加えたことを、よりわかりやすく示すため、タイトルの表記を「災害時の拠点となる本庁舎等の建替え」に改めることとしました。
- イ 「基本政策2」に関すること(3件)
成果指標の設定についての御提案をいただいたので、その趣旨を踏まえて、年度ごとの事業内容・目標の記載で反映させることとしました。
- ウ 「基本政策4」に関すること(1件)
“ICT”に解説をつけて欲しいとの御意見に対して、(情報通信技術)と付記することとしました。

3 充実・推進する主な取組 (第1期実施計画案の主な対応ページをカッコ内に表記)

戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

〔国土強靱化・地震防災戦略の推進〕

- 防災行政無線設備の再整備 (P94)
- 臨海部・津波防災対策の推進 (P94)

〔まち全体の耐震化など〕

- 民間建築物等の耐震化の促進 (P100, 101)
- 橋りょうの耐震対策 (P101)
- 密集市街地の改善に向けた取組 (P. 97)

〔上下水道機能の安定確保〕

- 上下水道施設等の耐震化 (P125, 126, 128)
- 開設不要型応急給水拠点の整備 (P125)

〔気候変動への対応〕

- 地球温暖化対策の推進 (P227)
- 五反田川放水路の整備 (P106)
- 大師河原貯留管の整備 (P129)

〔消防力の強化・救急医療体制の強化〕

- 消防航空隊庁舎の整備 (P103)
- 救急隊の増隊(28 隊目)に向けた救急救命士の養成 (P170)
- 川崎病院の医療機能の強化 (P173)

〔防犯対策の推進〕

- 路上喫煙・客引き行為等の防止に向けた取組 (P112)
- 防犯灯の維持・管理支援 (P111)
- 防犯カメラの設置支援 (P111)
- 消費生活相談体制の充実 (P112)

〔災害時の拠点となる本庁舎等の建替〕

- 災害活動の中核となる市役所本庁舎の建替え等に向けた取組 (P95)

戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

〔待機児童解消の継続〕

- 認可保育所受入枠の拡大 (P185)
- 地域型保育事業による受入枠の拡大 (P186)
- 一時保育事業の充実 (P186)
- 認可外保育施設への支援 (P186)
- 病児・病後児保育施設の運営 (P186)
- 幼児教育の推進 (P186)
- 保育士確保対策 (P187)
- 平成29年度に向けた保育所等の整備 (P185～187)

〔小児医療費助成制度の充実〕

- 通院医療費助成対象年齢の引き上げ(P183)

〔子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり〕

- 地域における身近な相談・支援の充実(児童家庭支援センターの増設)(P194)
- 就学援助費の支給・就学事務の適正執行(学齢簿のオンライン化等)(P207)
- 児童支援コーディネーターの専任化(P205)

〔中学校完全給食の導入に向けた取組〕

- 安全・安心で温かい中学校完全給食の早期実施に向けた取組(P202)

〔地域の寺子屋の推進〕

- 地域の寺子屋の開講(P218)

〔「わかる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進〕

- 「キャリア在り方生き方教育」の推進(P199)
- 学校図書館の充実(P201)

〔学校施設の環境整備〕

- 学校施設長期保全に向けた取組(P209)
- 新川崎地区・小杉駅周辺地区における小学校新設に向けた取組(P210)

戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

〔総合的なケアの推進〕

- 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組(P134)
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施(P134)
- 障害者通所事業所の整備(P146)
- 特別養護老人ホームの整備等、介護サービス基盤の整備(P140)

〔健康寿命の延伸に向けた取組〕

- がん検診の受診率向上に向けた取組(P156)
- かわさき健幸福寿プロジェクトの推進(P141)

〔超高齢社会を見据えた住宅施策〕

- 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進(P152, 153)
- 民間賃貸住宅等を活用した居住支援(P153)
- 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムと連携した取組(P153)

〔コンパクトで暮らしやすいまちづくり〕

- J R南武線の駅アクセス(稲田堤駅・津田山駅)向上に向けた取組(P118)
- 路線バスサービス向上に向けた社会実験の実施(P323, 327)
- コミュニティ交通の支援(P323)

戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

〔川崎駅周辺の整備〕

- J R川崎駅北口自由通路の整備(P302)
- 東口駅前地区・京急川崎駅周辺地区のまちづくりの推進(P301)

〔小杉駅周辺の整備〕

- 小杉町2丁目地区コンベンション施設の整備(P276, 302)
- 小杉町3丁目東地区市街地再開発事業の推進(P302)

〔地域生活拠点等の整備〕

- 登戸土地区画整理事業の推進(P305)
- 溝口駅南口駅前広場の整備(P304)

〔幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策〕

- 都市計画道路等の整備(P320)
- 交差点改良などによる緊急渋滞対策の推進(P321)
- 京浜急行大師線の立体交差化の推進(P321)
- JR南武線の連続立体交差化に向けた取組(P321)
- (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備(P321)

〔緑と水の循環形成〕

- 多摩川の魅力を活かす取組の推進(P250)
- 大規模な公園緑地の整備(P242)
- 魅力的な公園の整備(P242)
- 農地の保全・「農」とのふれあいの推進(P247, 248)

〔身近な公園のパークマネジメント〕

- 身近な公園緑地の管理運営の推進(P240)

〔安定的な廃棄物処理体制の構築〕

- 資源化処理の推進(P234, 235)
- ごみの適正かつ安定的な焼却処理(P235)
- 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施(P235)

戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

〔国際化に対応したイノベーションの推進〕

- ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進(P276, 228, 273)
- オープンイノベーションの推進(P276)
- Wi-Fi環境の整備などICT施策の推進(P280)

〔臨海部の活性化〕

- 臨海部の競争力強化(P290)
- 国際戦略拠点の形成・マネジメント(P291)
- 羽田連絡道路の整備(P292)
- 臨港道路東扇島水江町線の整備(P295)
- 東扇島堀込(ほりごめ)部の埋立に向けた取組の推進(P295)

〔水素社会の実現〕

- リーディングプロジェクトの実施(P278)

〔中小企業の支援・商業の振興〕

- 市内中小企業・商業等の支援(P256, 259, 260, 262, 263, 271)

〔都市農業の振興〕

- 都市農業の促進 (P266, 267)

〔就業の支援〕

- 総合的な就業支援の実施 (P285)

戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

〔東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組〕

- 大会に向けた取組の推進 (P333)

〔スポーツ・文化芸術の振興〕

- スポーツのまちづくりの推進 (P331)
- 音楽や映像のまちづくりの推進 (P340, 341)
- 等々力硬式野球場の整備 (P242)

〔協働により、心がつながるコミュニティづくり〕

- 多様な主体による協働・連携のしくみづくり (P355)
- 障害者の就労支援 (P149)
- 動物を通じていのちの大切さ伝える取組 (P177)
- 多世代交流の場づくり (P144, 190)
- 地域コミュニティ活性化に向けた町内会・自治会の支援 (P356)

〔シティプロモーションの推進〕

- 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進 (P345)
- 川崎の特性を活かした観光の振興 (P348)

4 第1期実施計画の推進に要する計画事業費

(単位:百万円)

	年度	総事業費	一般会計の財源内訳				
			一般会計	国庫支出金	市債	その他 特定財源	一般財源
総計	平成28(2016)	1,157,914	638,982	109,697	58,366	96,226	374,693
	平成29(2017)	1,262,695	746,116	129,379	73,039	98,978	444,720
	2か年総計	2,420,609	1,385,098	239,076	131,405	195,204	819,413

※ 公債管理会計分の事業費は、各会計の市債の発行や償還を管理する会計であり、事業費が重複するため、対象事業費から除いています。
 ※ 百万円未満を四捨五入しているため、一般会計と財源内訳の合計が合わない場合があります。

5 新たな総合計画策定に向けた今後の予定

- 2月8日(月) 第1期実施計画案の公表
- 3月下旬 新たな総合計画の策定・公表
- 4月下旬 新たな総合計画の概要について市政だより特別号でお知らせ